

総合特別区域評価・調査検討会における評価結果の概要(平成25年度)

2. 分野等別状況 (2)地域活性化総合特区 ⑥まちづくり等分野(3/6)

	評価区分(*1)	総合評価 (ⅠとⅡの平均値にⅢを加味)	Ⅰ 目標に向けた取組の進捗に関する評価	Ⅱ 支援措置の活用と地域独自の取組の状況	Ⅲ 現地調査時の指摘事項及び対応状況等(*2)	総合評価に係る専門家所見(主なもの)
”ふじのくに”防災減災・地域成長モデル総合特区(静岡県)	準	B 4.2	B 4.1 進捗度 ・第4次地震被害想定を対象とした津波対策施設の整備(※) ・6次産業化等の新規取組件数 118% ・県内の太陽光発電の導入量 109% 等 (※)は定性的評価	B 4.3 財政支援等 ・新東名新富士IC周辺物流拠点創出事業等 ・支援利子補給金 8件 地域独自の取組 ・大規模地震対策等総合支援事業費補助金等	±0.00	<p>・評価指標が、東海地震で想定される死者数、6次産業化取組み件数、太陽光発電導入量、輸出・輸入コンテナ取扱個数など<u>地域的に拡散した指標になっているため、特区の目標の達成状況が的確に捉えられておらず、目標達成の取組みも地域的な集中に欠ける(※)</u>。評価指標の設定および目標達成に向けた取組みについて、「内陸」と「沿岸部」に地域的に絞り込む見直しが必要ではないか。</p> <p>・また、各種事業の羅列的要素が強く、「防災減災」と「地域成長」の二つの要素が十分に融合していると感じられない。</p> <p>※:本特区においては、①「防災・減災機能の充実・強化」、②「地域資源を活用した新しい産業の創出・集積」、③「新しいライフスタイルの実現の場の創出」、④「暮らしを支える基盤の整備」の4つの政策課題を設定し、先導的モデルとなる地域づくりを県内11地域で戦略的に推進するとされている。</p>

◆評価書は[こちら](#)

◆評価結果は[こちら](#)

*1)「正」とは正評価、「準」とは準評価を意味する。

*2)「Ⅲ」については、「地方公共団体による総合評価の状況について」も評価している。